

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	
科 目 名	人生最期を支える看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	6 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限		教室名	
担 当 教 員	真木 由佳	実務経験と その関連資格	・医療法人ガラシア病院ホスピスに主任看護師として勤務 ・がん性疼痛看護認定看護師			
《授業科目における学習内容》						
①がん疼痛について ②がん疼痛に対する薬物療法 ③がん疼痛のアセスメント:事例検討						
《成績評価の方法と基準》						
出席、並びに授業態度、筆記試験で総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・講師プリント ・系統看護学講座 別巻 がん看護学 医学書院.						
《授業外における学習方法》						
・事前学習						
《履修に当たっての留意点》						
・講義内容に対して構想し、患者・家族のケアプランを考えられるようにする。 ・事前学習をすることで、授業での演習に備えてもらう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	がん性疼痛のメカニズム、分類、特徴を学び、看護介入の根拠 を理解できる		・講師プリント ・パソコン・ PowerPoint		
	各コマに おける 授業予定	・痛みの定義 ・痛みの初期アセスメント ・痛みの発生機序・病態				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	がん性疼痛を有する患者の薬剤使用方法について理解する		・講師プリント ・がん看護学 p82～88 ・パソコン・ PowerPoint	・知っている鎮痛薬を考 えてくる	
	各コマに おける 授業予定	・WHO方式がん疼痛治療法・WHO 三段階除痛ラダー ・痛みに対する薬物療法 ・薬物療法に関するケア ・突出痛の種類と対処方法				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	がん疼痛を有する患者に対するアセスメントを知り、看護計画 を立案し評価できる		・講師プリント ・がん看護学 p98～103 ・パソコン・ PowerPoint	・がん看護学p98～103	
	各コマに おける 授業予定	・痛みの悪循環 ・痛みの閾値 ・事例の演習				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定					
第 5 回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定					